

令和2年度第74回栃木県芸術祭美術展審査結果（洋画部門）

○ 応募総数	200点	[163点]	
○ 入賞点数	10点	[10点]	
○ 入選点数	113点	[97点]	* []内は昨年度

（審査寸評）

コロナ禍において、自宅に滞在する時間が多くなった関係か、例年になく多くの作品が出品され昨年度から37点増の200点となった。

出品作品は全体的に力作揃いであり、審査員を悩ませることとなった。その中でも入賞した作品には他の作品には見られないような魅力が感じられた。

○芸術祭賞「夜に浸かって時空を漂う」

テーマも良く構成力、描写力、色感が優れている。絵とはこのような事も表現できるということを教えてくれるような作品である。

○準芸術祭賞「旅の想」

描写力だけでなく、色彩に変化を付けたところが良かった。仮枠まで色が広げられたことで作品全体に広がりを感じる。

○準芸術祭賞「ポストのある風景」

絵画としてのマチエール、絵としての面白さを感じさせる作品である。

○U25賞「記憶」

静物描写の中で重厚感のある作品である。色調が統一されて表現として伝わってくるものがある。

〔受賞者及び受賞作品〕

○芸術祭賞

ひらかわ れな
平川 玲奈 (宇都宮市) 「夜に浸かって時空を漂う」

○準芸術祭賞

しばた しげじ
柴田 重二 (鹿沼市) 「旅の^{そう}想」

つゆき たかし
露木 孝 (芳賀町) 「ポストのある風景」

○芸術祭奨励賞

かとう きぞう
加藤 喜三 (福島県郡山市) 「脈 (母胎に宿る)」

すずき まさいち
鈴木 正一 (那珂川町) 「変異の風王」

やはば こ
矢幅 ツヤ子 (真岡市) 「軒先」

しぶや みちよ
澁谷 三千代 (高根沢町) 「冬の道」

こ せいえい
胡 婧盈 (宇都宮市) 「記憶・ふくろう」

ながしま まさし
長島 正志 (足利市) 「soaking」

○U25賞

いとう
伊藤 ひなた (那須塩原市) 「記憶」

令和2年度第74回栃木県芸術祭美術展審査結果（彫刻部門）

○ 応募総数	22点	[20点]	
○ 入賞点数	7点	[6点]	
○ 入選点数	15点	[13点]	* [] 内は昨年度

（審査寸評）

昨年を上回る22点の応募作品は素材、テーマともバラエティに富む秀作が揃い、見応えのある展示となりそうだ。ただし全体的に、圧倒的な存在感の強い大作が見当たらないのが残念。いずれも作品に向かう真摯な姿勢がさすがらしく、各人の今後の創作展開が大いに期待される。

○芸術祭賞「flamingo」

自由に伸びた自然木を使用して、そのしなやかなうねりを鳥が水辺で遊ぶ姿に生かしており、大胆闊達な表現が冴えた作品。木っ端を貼り合わせて胴体の丸みを構成したり、和紙を絡めてナチュラルで軽やかな色彩を纏わせたり、作者の奔放な造形力が潔い。フラミンゴの長い脚に見立てた支柱や大胆に頭をもたげた首と胴体のつながりに若干のぎこちなさが否めず、スケール感に欠ける部分もあるが、特徴的なくちばしの描写など独特なセンスが光る造形には、これらの群像もみてみたいとの声も上がった。

○準芸術祭賞「旅立ち」

一木材から、すっと立つ少年のポーズをおおらかに彫り出し、素朴だが優しく、のみの彫り跡に温かみを感じる木彫作品。どこか明るい表情にも安らぎを覚える。パーツでつないだ手のひらのフォルムが全体像との一体感には及ばない面もあるが、胸を張り、天を仰ぐ若者の旅立ちの情景に、健康的な爽やかさが漂っている。

○U25賞「穏やか」

十代の女性のまっすぐな眼差しに清潔感のある塑像作品である。

友人をモデルに、粘土で積み上げた小気味よいタッチがリズムミカルで生き生きとした肌合いとなり、地味ながらも巧みな表現が映えている。繊細な口元の造形を、ゆったりと柔らかな曲線を描いた後頭部のボリュームが包んで心地良く、17歳の作者の堪能なバランス感覚が頼もしく感じる。

〔受賞者及び受賞作品〕

○芸術祭賞

市村 多真美 (大田原市) 「flamingo」

○準芸術祭賞

鈴木 泉 (栃木市) 「旅立ち」

○芸術祭奨励賞

鈴木 正一 (那珂川町) 「虚無への供儀」

小林 駿 (大田原市) 「海鷓魚」

小松原 和之 (佐野市) 「祭りの記憶」

長 睦 (小山市) 「サンサン太陽」

○U25賞

上吉原 未侑 (宇都宮市) 「穏やか」

令和2年度第74回栃木県芸術祭美術展審査結果（工芸部門）

○応募総数	70点	[64点]	
○入賞点数	10点	[9点]	
○入選点数	55点	[47点]	* []内は昨年度

（審査寸評）

今年度の工芸部門は、陶芸、竹、織など出品バランスが良く作品完成度も高かった。そして色々な技法を用いて表現する作品が多く、慎重に協議を重ねた。また、審査過程の中で若い作家のレベルが上がって来ている事を実感した。

○芸術祭賞「高杯型網代編盛籃」

きめ細かく編み上げられた作品は、全出品作品の中でも大変に目立つ存在であった。細い竹一本一本が裏、表共に竹の表面を使い、スス竹の色の違いもうまく表現できていた。技術と表現が素晴らしい作品に仕上がっていた。

○準芸術祭賞「宿木」

漆は塗る支持体がなければ成立せず、一般的な漆器には木地が使用されるが、本作品は紙の柔軟性と折り曲げた際の弾力性を活かし、さらに漆を塗ることにより耐久性と張りのある軽やかでリズムカルな作品に仕上げた。本展に度々出品しているが、今年の作品は一層大胆な織りと複雑な構成になっており、あたかも植物が根を張り成長していくような動きや息づきさえ感じる。

○準芸術祭賞「鉄飴釉八寸組鉢」

表面は鉄アメ釉と刷毛目技法とシンプルだが釉と形がとても力強く表現されていた。特に中心に流れ込んだ釉の深みも見応え十分な作品に仕上がっていた。

○U25賞「外骨格」

観音開きの蓋の六角形の小箱3点による構成となっている。箱の側面には蒔絵や螺鈿の装飾が施され、蓋の取手には花や円錐形の彫金による飾金具が取り付けられている。箱を開けると内部には彫金細工の怪奇面が鎮座している。箱の外観と内部とのギャップは、内に秘めた作者の内面を表しているのだろうか。技術精度を高め表現を追求することができれば、作品から発するメッセージは共鳴し増幅していくであろう。今後のさらなる活躍を期待したい。

〔入賞者名〕

○芸術祭賞

よしざわ かつみ 吉澤 克己	(大田原市)	たかはいがたあじろあみもりかご 「高杯型網代編盛籃」	(木竹)
-------------------	--------	-------------------------------	------

○準芸術祭賞

ほし あつみ 星 温美	(宇都宮市)	やどりぎ 「宿木」	(漆芸)
くりはら かずと 栗原 和十	(益子町)	てつあめゆうはつすんくみぼち 「鉄飴釉八寸組鉢」	(陶芸)

○芸術祭奨励賞

やつだ きえ 矢津田 貴慧	(益子町)	すいきょうかき 「水響花器」	(陶芸・金工)
なかやま 中山 キッコ	(足利市)	はじょうもんつぼ 「波状紋壺」	(陶芸)
おおはし しげる 大橋 滋	(鹿沼市)	ほそくびしらはぎつぼ ゆき 「細首白萩壺「あわ雪」」	(陶芸)
すぎした さちこ 杉下 幸子	(下野市)	にわこびと 「庭小人」	(人形)
すずき えいこ 鈴木 瑛子	(真岡市)	びやくや もり 「白夜の森」	(染織)
り めいはん 李 夢涵	(宇都宮市)	じえごう 「解构」	(漆芸)

○U25賞

ろっかく はるか 六角 春香	(鹿沼市)	がいこっかく 「外骨格」	(漆芸・金工)
-------------------	-------	-----------------	---------